

てしお

第 131 号
平成 22 年 11 月

議会だより



開基 130 年の記念植樹を行う小学校 1 年生（10 月 22 日撮影）

目次

○第 5 回町議会定例会、専決処分ほか	2 頁
○決算特別委員会の審議内容	3 頁
○一般質問（4 氏 5 件）	
・石山議員 「旧出先施設の再利用」ほか 1 件	5 頁
・川端議員 「災害による情報の伝達方法」	6 頁
・渡辺議員 「収納率向上対策会議の設置」	7 頁
・菊地議員 「町政の継続」	8 頁
○補正予算、議会日誌など	10 頁

第5回天塩町議会定例会

9月定例会は、9月15日から16日までの2日間開かれ、行政報告に続き一般質問のあと21年度各会計決算（審査特別委員会で審査）、過疎地域自立促進計画策定のほか、22年度補正予算3件、意見書2件等を審議し、原案のとおり可決しました。

正算 補予

専決処分

一般会計補正（専決第1号）
1億1千900万円を追加し、総額を42億7千262万5千円に。

（平成22年8月14日専決）

8月の集中豪雨による災害復旧関連の査定に伴う測量調査委託料や復

旧作業に係る経費、水道施設の復旧に伴う水道会計への繰出金が補正の主な内容。

水道会計補正（専決第1号）

8千292万円を追加し、総額を2億8千479万5千円に。

（平成22年8月14日専決）

8月の集中豪雨による災害復旧関連の予算で、更岸貯水池・浄水場、泉源貯水池・浄水場の復旧に係る経費が主な内容。

【水道貯水池】

森議員

森林整備により貯水池周辺の治水

一般会計補正予算（専決第1号）

歳入		単位：千円
農地等災害復旧事業負担金		36,000
財政調整基金		83,000
計		119,000
歳出		単位：千円
水道事業会計繰出金		37,220
農地等災害復旧工事委託料		61,250
林道災害復旧事業		2,500
道路・河川災害復旧事業		5,500
大雨災害復旧関連経費		11,976
その他		554
計		119,000

能力、保全能力を高める考えはないのか。

町長

森林のあり方は、長い目で検討していきたい。

菊地議員

泉源貯水池はほとんど埋まっている感じである。大丈夫なのか。

経済課参事

測量では有効水量は約8万4千880トンあり、50日程度の有効水量は保たれている状況です。

将来的には、浚渫などを考えるべきだと思いますが、それには第2水源の確保が必要です。

菊地議員

民安と同じように、肥培の貯水池を考えてみてはどうか。

経済課参事

平原地区の貯水池はダムではなく、それだけの貯水量がありません。

菊地議員

国に急切的にお願いしてはどうか。

町長

開発建設部と相談してみます。

条例 改正

専決処分

町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正

8月に発生した豪雨災害の事業を実施するなど、急な事業を行う場合にあらかじめ徴収を受けるべき者の3分の2以上の同意を得ることとするもの。

施行日 平成22年9月1日

決算審査特別委員会

9月15日～9月16日

21年度各会計決算は、決算審査特別委員会(菊地委員長)に審査を付託し、本会議を休会し集中的に審議しました。その審議内容を紹介します。

で入居することは許されない。町は相変わらず、払ってくださいの一本で行くのか。

後藤委員
住宅料も保育料も、保証人への対応をしっかりとやるべきだ。

住民課長
3、4件は連帯保証人からもらっている。今後も、保証人や親戚縁者に声を掛けていきたい。

【教育使用料】
渡辺委員
財政健全化計画による値上げで利用者が減ったのではないか。

教育長
子どもたちの使用料を無料にしていく部分もあり、総体的に大きく利用者数が減った施設はあまりないと捉えている。

【国民健康保険税】
渡辺委員
213万円を不能欠損処分した理由は、4千300万もの滞納額をどう解消していくのか。

住民課長
不納欠損は生保3名、事業停止5名、居所不明者2名、死亡者3名の分である。

町長
国保には、一番生活の苦しい人が入ってくるため、どこの町村でも

●一般会計

【町税の不納欠損】

渡辺委員

滞納繰越額が累増している。減少の方策をどう考えるのか。

不納欠損処分を監査委員が適正であると認めた理由が何か。

住民課長

徴収に鋭意努力しているが思うようにいかない現状である。

監査委員

不納欠損金は、生活困窮者等でありやむを得ない事情とされている。

渡辺委員

課税は担税力があるとの判断から課税をしている。大変だから払えないでは不公平感につながる。

町長

不納欠損は1件1件、担当と膝を付き合して審査した。課税はその

【保育料】

渡辺委員

保育料は所得に応じており、払えないはずがない。対策本部が毅然として乗り出していくべきだ。

中嶋委員

母子家庭等は諸々の制度がある。払えないのはいかがなものか。

福祉課長

少額でも収納をしていたらきたいと引続き臨戸訪問をしていく。

【住宅使用料】

渡辺委員

1千42万円もの滞納がある。ただ

単位：千円

●平成21年度 天塩町各会計決算総括表

会計名	予算現額	歳入				歳出			差引額
		調定額	収入済額	不納欠損	収入未済	支出済額	翌年繰越	不用額	
一般会計	5,068,777	4,811,810	4,777,762	3,631	30,417	4,726,442	309,458	32,877	51,320
国保会計	499,738	546,985	501,500	2,131	43,354	488,514		11,224	12,986
水道事業会計	238,500	240,611	239,629	20	962	229,369		9,131	10,260
老人保健会計	4,634	5,347	5,347		0	4,328		306	1,019
下水道会計	188,700	188,988	188,846		142	187,898		802	948
介護(保険)	344,000	340,793	340,190		603	338,132		5,868	2,058
介護(サビ入)	52,371	52,832	52,832		0	51,857		514	975
後期高齢者	39,290	39,410	39,230		180	39,118		172	112
合計	6,436,010	6,226,776	6,145,336	5,782	75,658	6,065,658	309,458	60,894	79,678



道路の整備に関する意見書

北海道は、移動や物資の輸送の大半を自動車交通に依存しており、道路は生活と経済・社会活動を支える重要な社会基盤である。

国と地方の適切な役割分担のもと、道路整備に必要な予算の確保と、地方の自主性・裁量性を重視した自由度の高い制度が重要であるため、次の事項を強く要請する。

- 1 高規格幹線道路ネットワークの早期形成。
- 2 老朽化した道路施設の長寿命化に係る費用の支援・拡充。
- 3 交通事故対策、自然災害時の機能確保など、道路の維持に必要な予算額の確保。
- 4 一括交付金の制度設計の際には、地域の課題に対応できる必要な予算額の確保。
- 5 救急医療、観光、災害対策など総合的な事業評価手法の検討。
- 6 地方の財政負担の軽減に資する地方道路整備臨時貸付金制度の維持・拡充。

森林・林業政策の早急かつ 確実な推進に関する意見書

森林に対する国民の期待は地球温暖化の防止、国土の保全や水源のかん養はもとより、低炭素社会づくり、木質エネルギー利用を含め木材利用の期待が増大している。

今後、森林整備の着実な推進と、森林資源を適切に活用し、森林・林業・木材産業の活性化による山村の再生を図るため要望する。

- 1 地球温暖化防止対策の財源の確保、森林所有者の負担軽減措置等の推進。
- 2 森林所有者の責務を明確化するとともに、皆伐の抑制や確実な植林の仕組みの構築。
- 3 低炭素社会の実現に着目した公共建築物等における木材利用の促進。
- 4 森林計画の作成や施業の集約化を担う人材等の育成確保。
- 5 国有林の国による一体的な管理運営体制の確立。

次の2件の意見書は可決後、直ちに国などの関係機関に提出しました。

苦慮している。収納率上げるため、一人一人に懇切に納めてもらうよう努力していく。

【被保険者証】

石山委員

滞納者に対する保険証の扱いは、

副町長

資格証明書を発行する前に短期給付証を出し、3か月など期間をおいて納めてもらっている。

石山委員

印鑑を押せば、すぐ保険は適用になる話を聞いたことがあるが。

住民課長

保険証を出す条件として、納税してもらっている。

中嶋委員

生活保護者は、年金生活者よりも所得は多く、生活保護を受けてい

るから払えないでは納得できない。

町長

決して努力しないで放漫にしているわけではない。職員一丸となって最善を尽くしたい。

●水道事業会計

【水道使用料】

石山委員

未収で給水停止した件数は何件か。

経済課参事

悪質な者には徹底的にやるべきだ。21年度は4件である。

経済課長

順次計画的に納めていただくよう処置している。

●介護保険（保険事業）会計

【介護保険料】

渡辺委員

収入未済額の対応をどうするのか。

福祉課長

引続き臨戸訪問、電話、面談などで徴収にあたりたい。

●後期高齢者医療会計

【後期高齢者保険料】

渡辺委員

18万円の未済額は何件か。

福祉課長

2件のうち1件は死亡で、その分は不納欠損になると思う。

渡辺委員

亡くなる前に対応できなかったのか。

町長

亡くなる方の情報は事前に入りにくい。今後、できるだけ情報収集に努めたい。

●国保病院事業会計

【赤字解消策】

渡辺委員

病院収支と今後の方向性は。

町長

平成18年の医療制度改正により地方負担が非常に大きくなり、それを少しでも減らそうと日々努力している。地方病院も指定管理者制度への動きもできており、今後、情報を収集しながらいい方向に向かうように努力していきたい。

【厨房の民間委託】

石山委員

民間委託する考えはあるのか。

町長

地元と関係のない組織になってしまいうこともあり、慎重に見極めていきたい。

石山直継 議員

旧農業改良普及センターを 農業研修施設にしては

町長 関係機関等の希望により慎重に検討します

質問
昨年、旧留萌支庁の出先機関が集約・統合されたが、道から町への打診があったのか。打診を受けた場合、施設の再利用をどう考えているのか。また、過去に道から出先機関の施設と土地の管理や再利用の打診を受けた物件はあるのか。

町長
昨年10月13日、旧留萌支庁出先機関は旧保健福祉事務所天塩支所へ集約され、集約後の2施設は、町に利用計画がなければ解体するとの説明がありました。理由は、旧留萌支庁合同庁舎の敷地は町有地で借地料が発生すること、農業普及センターの



石山直継 議員

敷地は道ですが、既に建物の耐用年数が経過しているためです。

町では、耐用年数の残っている旧合同庁舎の無償譲渡を希望していますが、無償譲渡は難しいとのことから、低額での有償譲渡をお願いしています。異業種交流や産業連携の活動拠点、高齢者事業団、勤労者企業組合の利用も考えています。旧農業普及センターは利用計画がないため譲渡等の希望はしていません。

質問
この2施設以外に、道の出先機関の管理・再利用の打診はありません。

町長
過去に農業研修センターを作るべきではと一般質問をしたが、まだ実現されていない。新規就農やヘルパーなどが基礎勉強するための宿泊施設にはどうか。

農業改良普及センターは老朽化しており、宿泊が可能か再度検討してみたいと思います。また、農協や関係者と相談をし、新規就農やヘルパー、実習生がどの程度希望しているのか慎重に検討したいと考えます。

質問

跡地の利用と言えば、元の営林署の社宅など、民間に払い下げの前に町に打診はなかったのか。

総務課長

留萌北部森林管理署から昨年10月に、苗畑地区の土地と1棟2戸が2棟、1棟4戸の旧公務員宿舎、今年7月には7丁目の土地と1棟4戸の旧公務員宿舎の協議がありました。いずれも、振興計画で新たに土地を取得して活用する計画がないため、買受希望はないと回答しています。



旧留萌支庁合同庁舎

石山直継 議員

災害復旧経費は全て町が持つのか

町長 留萌振興局に財政支援を要望しています

質問
この夏季の豪雨による水害は断水を含め、過去に例を見ない大規模なものとなった。道路、河川や基幹産業に及ぼした被害状況と復旧状況、道からの救済支援等を合わせて伺いたい。

今回の災害教訓から再発防止として、民安ダム、水源池周辺整備にどのような計画があるのか。

町長
(被害状況は「9頁行政報告」参照)
更岸の水源池に湧水が発見されましてのでボーリングし、来年春まで調査を行う計画です。堤体等の構造は、道開発局が地域支援事業として

調査しています。土石流の防護として、道が水源かん養林の緊急治山事業を計画しています。

水源の水源池では、土砂と流木の水源池内への流入程度を測るため深淺測量を行いました。堤体の崩落土砂除去、放流先の河川の復旧・整備は、森林管理署と振興局に依頼をしています。

災害復旧事業で、道路・河川等は5本、林道は6本を予定し、その他は随時補修により対応します。

草地は9月20日頃までに圃場を回復し、種子の播種を行うことが求められたため、町では13日に、豪雨農地災害復旧応急工事を発注したところですが、この事業を行うにあたり、多数の道職員の派遣をいただき発注にこぎつけることができました。

質問

道議等の現地視察や、道職員の派遣は知らされていない。行政から報



1階の半分まで浸水した高橋宅（新成）

告があれば、一緒に被害状況を見るのができたはずだ。

水源池の調査や、道路・河川・林道の復旧経費は全て町が持つのか。

経済課長

大きい事業は災害復旧事業として、国の認定により補助事業として行います。それ以外の部分は、町費と考えています。

経済課参事

水道の堤体の構造物調査は開発で行い、この費用は開発で支払うと思います。そのほかの井戸等の経費1千550万は町費と考えています。

町長

普通河川、町道の被害等は町費ですが、8月20日ごろ振興局に財政的支援の要望を出しています。

視察に来られた方は急に来るため、町では把握しきれいていません。おそらく、町にあまり迷惑かけないよう配慮されているのかなと思います。

そのため、議員の方に事前にお知らせできませんでした。

小平衆議院議員、工藤道議と飯島先生と、道農政部長、留萌振興局長ほか幹部の方々、留萌開発建設部長ほか幹部の方々が来て現地を見ていただきました。特に留萌開発建設部は民安ダムから取水をする関係で、臨時

的な応急処置に関係し、特段のご配慮をいただきました。

質問

農家の草地改良には、20%の個人負担があるという話は本当か。

町長

この被害で、農家の負担もかなりあると思います。離農につながってしまうような農協と打ち合わせをし、翌年には円滑に元の姿に戻れるように努力をしていきます。

川端英嗣 議員

災害時こそ正確な情報伝達を行うべき

町長 少しでも改善できるように努めます

質問

この度の災害時の防災無線は声が届きにくく、給水体制の周知などに



川端 英嗣 議員

不備がはつきりと表れた。

屋外拡声局（スピーカー）は町内には12か所、雄信内地区には2か所あるが、全町カバーできているのか。難聴地域があるのなら、スピーカーの増設や位置、方向の調整等で問題は解決できないのか。

平成20年6月の定例会で、遠別町のように情報を携帯メールで発信してはどうかとの質問に対し、他町村の取組み状況を調査したいと答えているが調査結果はどうなったのか。視覚障害者等への情報伝達としてテレホンサービスはできないのか。

町長

防災行政無線は、16年度に3千300万円をかけ設置し、その後町民から聞き取りづらいなどの申し出があったため、昨年度600万円をかけスピーカーの音量調整、基盤の取り換え、放送室の操作盤の取り換えなどの改修をしたところですが、気象条件によるスピーカーの共鳴や、住宅環境により聞きづらいこともあることをご理解願います。

副町長

屋外スピーカーを増設することは可能ですが、設置した業者に確認すると、地区により共鳴して聞き取りづらくなる可能性があるようです。その場合は音の分布図を作成し、確認していくことが必要です。

視覚障害者等への情報伝達として、当面はお年寄りや障がいを持っていらっしゃる方には、今回の対応と同様に、福祉課を中心に個々に電話連絡をして対応していきたいと考えています。

質問

防災無線は昨年度改修したが、町民は改善されたとは感じていない。スピーカー増設等の作業は、今後とりかかると認識しているのか。農村地区はどうなのか。

メール配信は登録された希望者に対し、その内容を一齐送信すればいいだけで、難しいことではない。費用もかからず、情報は正確に伝わる。もう一度伺うが、町独自のサービスとしてできないのか。

テレホンサービスは、防災無線と同じ内容を電話で自動的に聞けるようにするものだ。一般的な家庭電話には留守電機能があり、携帯電話では携帯メールを音声で聞くこともできる。このサービスをやるにあたって何かできない障害でもあるのか。

副町長

農村部には、農協を通じてフアックシミリ等で配信をしています。またホームページに搭載していく考え方も今後必要かと思えます。

メール配信サービス、テレホンサービスについても検討しなければならぬと思います。

町長

防災無線は、一部の市町村では時間差で放送するところがあり、少し成果をあげていると聞いています。聞こえ方が悪いということですので、少しでも改善できるように努めたいと考えています。



▲屋外拡声局。天塩市街地に12基、雄信内市街に2基、設置されている。

渡辺修勝 議員

民間人を入れた収納率向上対策会議の設置を

町長 今後、設置について煮詰めていきます



渡辺 修勝 議員

学童保育や子育て支援センター、更に特別支援教育など、子どもに関連する業務を教育委員会が一体的に所管できないか。

町長

収納率向上対策会議は、民間人の方の起用による全体的な会議はできませんが、氏名、差押等の内容、財産、預金、給与等の額等を示されるため、現段階では民間の方を含めての対策会議の設置は考えていません。

上川広域滞納整理機構が平成21年4月に発足され、現在8町が加盟しています。今後、滞納額の減少に努めるため、この整理機構へ加入するか否か、町の負担額も発生しますとので、十分に検討して判断したいと考えています。

副町長

対策本部では今年5月、7班体制により計17名の管理職等が37件訪問し、それ以外にも税務係で訪問徴収を行っています。

滞納額の徴収は、町税全体で19年度849万円、20年度764万円、21年度は1千196万円で、対策本部を設置して以来、年末、出納閉鎖期、夏期等に徴収強化月間と位置づけ、町広報誌回覧、チラシ折込などにより未納者に納付の督促を行い、成果が少なからず反映していると思っております。

教育長

学童保育、子育て支援センターは国の縦割り行政の中で実施されてい

質問

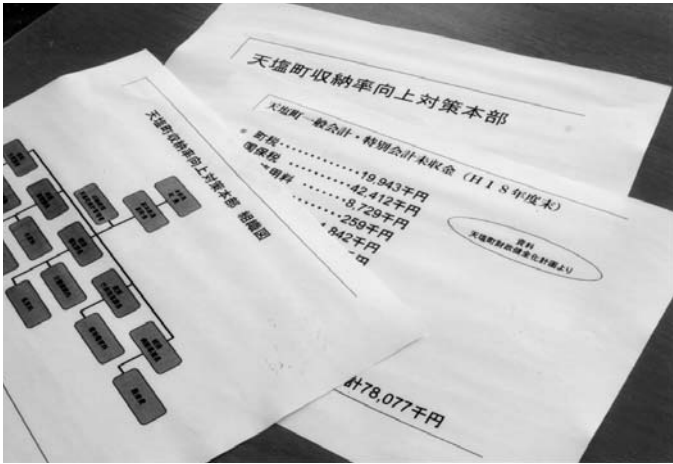
収納率向上対策会議を設置し、民間の考え方を参考にしているのか。収納対策本部の効果は思ったほど成果を出していないが、これをどう分析しているのか。

ますが、一部で両省の連携した事業も取り組まれています。今後、一体的に実施することが将来的に望ましいと真摯に受け止めています。

特別支援教育は専門スタッフが多く携わっている現状から、教育行政と福祉行政の現場と保護者との連携から、現状での一体化は難しいと思われるますが、将来的にはスムーズに進められるようなシステムにできないかなど検討を加えていく必要があると考えています。

質問

対策会議は「民間の方の起用した



全体的な会議」までで十分である。再度、対策会議の設置の考えを伺いたい。

上川整理機構への加入は、前向きに検討していく必要がある。

収納対策本部のほとんどの課長職は危機感を持つているのか。

5月30日の新聞で、千葉県船橋市で強攻策により市税の滞納が半減になったという記事がある。差押えを最初にしてしまうという逆転の発想で好転したということであり、検討してみる必要があると思うが。

副町長

上川整理機構には職員の派遣や負担金が生じてきますので、費用対効果も検討しなければなりません。

課長職は滞納に危機感をもって本当に努力しています。

町長

民間人を起用した会議等は非常にいいことと考えますので、今後少し煮詰めたいと考えます。

天塩の場合では、納められなくて他町に行こうとした人が何人もいますので、船橋市の例は、どこまでやるかは決断がいります。

ここに至るときには、町民の皆さんや議員の意見を聞いて決めていきたいと思っています。



菊地 敏 議員

菊地 敏 議員

来期も行政手腕を発揮すべき

町長 来期も全身全霊で取り組んでいきます

質問

平成19年度に財政健全化計画を策定し、計画を着実に進めることがで

きたとの判断であるが、いまだ商工業の取り巻く環境は悪化の一途をたどっている状況だ。

この財政健全化を第一に掲げて、浅田町長に託した町民の夢の実現に向け、来期も手腕を発揮していただきたいと思うがどうか。

町長

19年は、本町にとって財政の危機をいかにして乗り越えるかが最大の課題であり、住民の皆さんのご理解ご協力により、我慢の連続の中で財政の健全化が進められたことは、誠に貴重な積み重ねだと考えています。国の財政、道の財政ともに厳しい状況にありますが、本町にとって農業畜産、漁業、林業、商工業が一番大事な産業であります。

さらにまた、少子高齢化もあり、医療や福祉の問題、教育・文化の問題、道路・河川・橋りょうの問題、今回のような災害などいろんな課題が山積しています。

このような中で、来期もというお話をいただきました。町議会の皆さんや住民の皆さんと未来のまちづくりに向けて、その夢を共有し、多くの課題について、来期も全身全霊をもって取り組んでまいりたいと決意をしているところでございます。

町長から行政報告がありました。

大雨災害の概要

7月から8月にかけて雨が続く中、8月14日未明の雨は、更岸・泉源方面を中心に短時間に176ミリを記録し、床上・床下浸水合わせ18世帯79人、断水が1千500世帯となる有史以来最大級の被害となりました。



更岸・泉源の水源地では、ダムに山の斜面が落ち込み泥水が多量に流入したため、飲料水が作れなくなり4日間にわたり断水となりました。ただ今懸命に復旧に努めるとともに、臨時的に民安ダムから水を引く準備を進めており、更に地下水の利用も一部検討しています。

農地は約1千400ha冠水し、このうち収穫に多大な影響の出る草地については国の応急農地災害制度による復旧のため、留萌振興局ほか6局約30名の職員の応援を受け、現地調査

等の作業をしていただきました。

林道も、6路線中5路線で崩落等による多大な被害を受け、国の災害で対応できるよう努めているところです。河川、道路も現地調査を行い速やかに対応しています。

水道の断水時には遠別町、幌延町、豊富町、初山別村、羽幌町、苦前町、留萌自衛隊、旭川第2師団、留萌開発建設部、旭川開発建設部、天塩建設協会、自衛隊勝田駐屯地にも協力をいただきました。

この間に小平衆議院議員、工藤道

議、道農政部長、留萌振興局長、

留萌開発建設部長、自衛隊留萌駐屯地司令、旭川地方気象台長、北農中央会会長、ホクレン会長、水道課長など、多くの方々の現地視察を受けています。災害に係る篤志も、町内外から多くの機関、団体、個人、会社等からご支援をいただき、謹んで厚く御礼を申し上げます。

来春、天塩郵便局に

天塩集配センターを設置

郵便事業株式会社から23年4月をめぐりに、天塩集配センターを設置し集配業務を行う旨の文書を8月31日付けで受理しました。

郵政事業の民営・分社化に伴う集配郵便局の集約計画については、計画に反対する会を設立し、町民の皆さんとともに署名運動、公開質問状の持参提出、国会議員への訪問、看板設置、意見書提出など繰り返してきました。これまでの反対運動を展開させていただいたことに対し、心から感謝を申し上げます。

天塩集配センター設置により、郵便サービスの向上と地域づくりが加速すると大きく期待しています。

写真上・川の水が抜けず浸水し

たままの牛舎（干拓）

写真中・床上浸水した住宅の内

部（泉源）

写真下・土砂・倒木の流入で通

行止めとなった更岸14号線



一般会計 補正予算

【物産開発促進事業補助金】

森議員

具体的な内容の説明を。

企画商工課長

乳製品の加工機械の導入費等で235万円に対する補助金50万円です。チーズの熟成期間と来春の販売という事情から今回計上しました。

森議員

来年オープンしてからの補助でも遅くないのでは。

企画商工課長

当然、事業計画どおり進まない場合、補助金の返還もありますが、春のオープンに向け支援していきたいと考えています。

石山議員

この事業は始まって25年経過している。町の活性化のために

一般会計補正予算（第2号）

歳入	単位：千円
中山間地域交付事業補助金	12,810
財政調整基金	8,000
前年度繰越金	14,219
その他	4,338
計	39,367

歳出	単位：千円
開基130周年記念事業	367
住宅改修等助成金	3,000
新型インフルエンザ予防接種費用	2,262
緊急雇用創出推進事業	2,041
中山間地域交付金交付事業	15,212
商工振興事業補助金	6,000
物産開発促進事業補助金	500
その他	9,985
計	39,367



もう少し補助金を上げるべきでは。

菊地議員

50万円では何もできない。新しい企業を芽生える時には、もっと手厚い支援が必要だ。

中嶋議員

補助金は見直すべきだ。

町長

前向きに検討させていただきます。

過疎地域自立促進計画

新過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、現行過疎法の執行期限を6年間延長し、平成22年度から計画を定めるもの。

人権擁護委員

渡部 弘子 氏（63・再）

天塩町山手裏通1丁目

固定資産評価審査委員

竹谷 志郎 氏（62・再）

天塩町字更岸4718番地



議会日誌

9月

- 24 7月 自衛隊稚内分屯基地開庁56周年記念行事〔稚内市、議長〕
- 4 8月 新第2師団長を囲む会〔留萌市、議長〕
- 9 懸案事項要請〔〓10、札幌市、議長〕
- 13 戦没者追悼式〔議長ほか〕
- 14 大雨災害現地視察〔議長ほか〕
- 19 議会広報研修会〔〓20、札幌市、川端〕
- 21 姉妹都市アラスカ州ホームー市親善訪問〔〓29、議長〕
- 1 管内議員研修会〔初山別村、8議員〕
- 7 議会運営委員会〔全委員〕
- 9 敬老会〔議長ほか〕
- 15 第5回町議会定例会〔〓16、9議員〕
- 16 全員協議会〔8議員〕
- 25 第24回札幌雄信会の集い〔〓26、札幌市、渡辺〕
- 2 10月 衆議院議員小平忠正さんを囲む集い〔議長〕
- 3 天塩町開基130周年記念祝賀会〔議長ほか〕
- 18 道内行政視察〔〓20、池田・新得、9議員〕
- 22 天塩町開基130周年記念植樹〔苗畑、議長ほか〕
- 23 議会運営委員会〔4委員〕
- 26 東京天塩会30周年記念総会〔〓25、東京都、議長〕
- 27 議会広報特別委員会〔2委員〕
- 29 第6回町議会臨時会〔全議員〕
- 30 総務文教常任委員会所管事務調査〔全委員〕
- 31 留萌中部・北部地域医療対策協議会設立会議〔羽幌、議長〕
- 32 南恵庭駐屯地58周年ほか記念行事〔〓31、恵庭市、議長〕